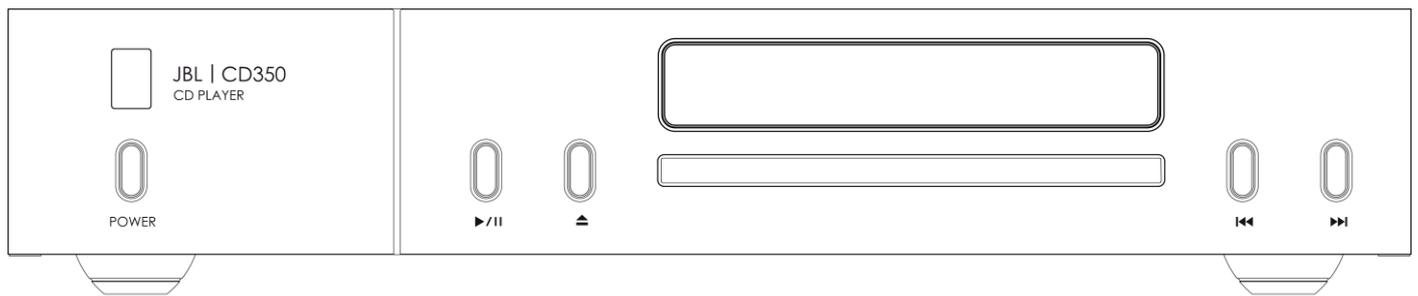




CD350 Classic - コンパクトディスクプレイヤー

オーナーズマニュアル



安全に関する重要な注意事項

1. 本説明書をお読みください。
2. 本説明書を保管しておいてください。
3. 警告をすべて守ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 乾いた布を使って清掃してください。
6. 換気口をふさがないでください。メーカーの指示に従って本機を設置してください。
7. 熱源（ラジエーターや電熱器やストーブなど、熱を発生する機器（アンプを含む））の近くに本機を設置しないでください。
8. 極性付きまたは接地タイプのプラグの安全機能を損なうな使い方はおやめください。極性付きプラグの片方の端子は、もう一方の端子より幅が広がっています。接地タイプのプラグには、2つの端子と、接地端子が装着されています。幅広端子や接地端子は、お客様の安全のために装着されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事に相談して、不適切なコンセントを交換してください。
9. 電源ケーブルの上を歩いたり挟まないようにしてください。特に、プラグ、テーブルタップ、および機器のケーブル出口で電源ケーブルを保護してください。

10. メーカーより指定された付属品やアクセサリのみをお使いください。
11. メーカーが指定している、または、本器専用で別売されているカート、・スタンド、三脚、ブラケット、テーブルと一緒に使用してください。カートを使用する場合、カート/機器と一緒に移動している際に転倒させてけがをしないように注意してください。
12. 稲妻が光ったり、長期間使用しないときは、本器の電源ケーブルを抜いてください。
13. 整備はすべて有資格者に依頼してください。電源ケーブルやプラグが破損した場合、液体をこぼした場合、中に異物が入った場合、雨や湿気で濡れた場合、正常に動作しない場合、落下させた場合など、何らかの損傷が生じた場合には、修理が必要となります。
14. 本機を交流電源から完全に切断するには、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
15. 電源コードの電源プラグは、容易に操作できる状態にしておく必要があります。
16. 本機には、メーカーから提供される電源ケーブルや充電ケーブルのみを使用してください。



以下の手順は防水型デバイスには適用されない場合があります。防水に関する詳しい説明については、機器のユーザーマニュアルまたはクイックスタートガイドを参照してください。

- 本器を水周りで使用しないでください。
- 本機に水滴や飛沫がかからないようにしてください。また、本機の上に、花瓶など液体の入った物を置かないでください。

警告: 火災や感電を防止するため、本機を雨や水で濡らさないでください。

警告	
感電の危険があります。開かないでください。	
	製品上のこの記号は、筐体内に、絶縁されていない危険な高電圧が存在し、感電の危険があることを意味しています。
	製品上のこの記号は、本ガイドに重要な操作手順やメンテナンス手順が記載されていることを意味しています。

安全上の注意事項の完全リストについては、JBL.com の製品ページにアクセスし、安全シートをダウンロードしてください。

クラス II 機器

本装置はクラスII（二重絶縁）電気機器です。電氣的アースへの安全接続を必要としない方法で設計されています。

目次

安全に関する重要な注意事項	2
クラス II 機器	2
目次	3
JBL 製品をお選びいただきありがとうございます	4
同梱品	4
本器の配置	4
フロントパネル	5
.....	5
リアパネル	6
リモコン	7
CD プレーヤーの接続	8
アナログ接続	8
重要なヒント	8
デジタル接続	9
重要なヒント	9
操作	10
電源	10
スタンバイ	10
オートスタンバイ	10
CD の再生	10
USB ストレージデバイスからの再生	10
メニュー	11
メニューツリー	11
サポート対象のフォーマット	11
ディスクフォーマット	11
ファイルフォーマット	12
トラブルシューティング	13
仕様	13

JBL 製品をお選びいただきありがとうございます

JBL は、75 年以上にわたり、世界中のコンサート、スタジオ、劇場、家庭向けに最高級オーディオ機器を製造し続けてきました。JBL は、一流のレコーディングアーティストやサウンドエンジニアから信頼されているブランドです。

JBL CD350 は、今後数十年にわたって高信頼の CD 再生が行えるように設計されており、優れた音楽性を有しているため、音楽を最大限に楽しむことができます。

本書には CD350 の設置と使用方法、ならびに、高度な機能に関する情報が記載されています。

万が一障害が発生した場合、または技術サポートが必要な場合は、メール luxurysupport@harman.com もしくは電話 +44 1707 668012 または +1 888 6914 171 で、専門サポートチームにご連絡ください。故障が発生した場合、もしくは JBL 製品に関する詳しい情報が必要になった場合、当社販売店ネットワークが喜んでお手伝いいたします。詳細については JBL のサイト JBL.com をご覧ください。

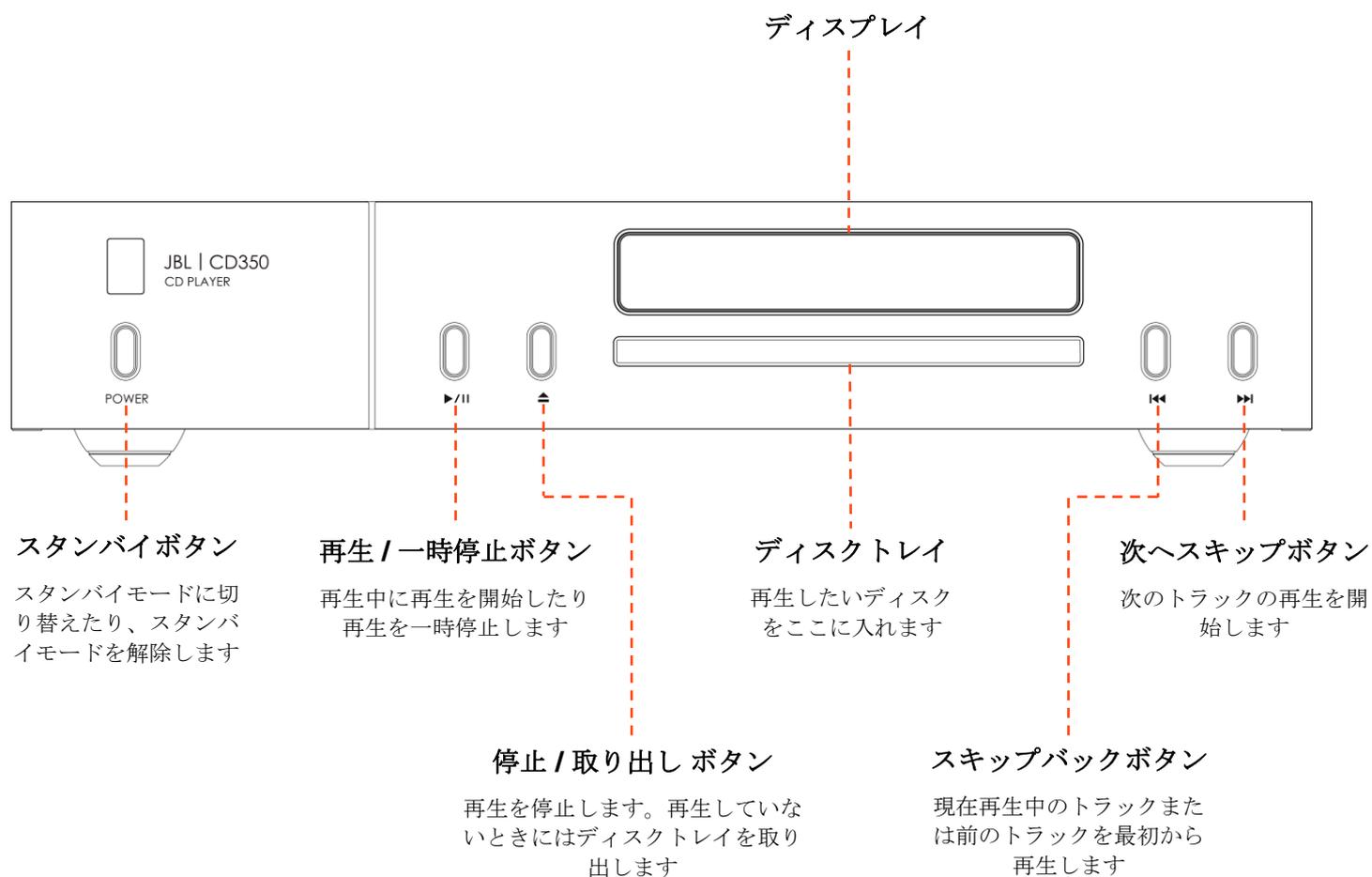
同梱品

- JBL CD350 Classic CD プレーヤー
- 赤外線リモコン
- リモコン用単 4 電池 2 本
- 地域別の電源コード
- クイックスタートガイド
- 安全性と法令順守に関する文書

本器の配置

- 本 CD プレーヤーは、直射日光や熱源や湿気を避けて、丈夫で平坦な水平面に設置してください。
- CD350 は、アンプなどの熱源の上に置かないでください。
- リモコンの動作が妨げられますから、フロントパネルディスプレイの左側にあるリモコン受光器の前に障害物を置かないでください。
- 本器の上にレコードプレーヤーを置かないでください。レコードプレーヤーは主電源から発生する雑音に対して大変敏感です。電源とレコードプレーヤーとの間が近すぎると、再生音にハム音が混ざって聞こえるようになります。
- 本器の正常な動作は、強力な電磁妨害によって妨げられることがあります。これが発生した場合、電源ボタンで本器をリセットするか、本器を別の場所に移動してください。

フロントパネル



リアパネル

デジタル出力

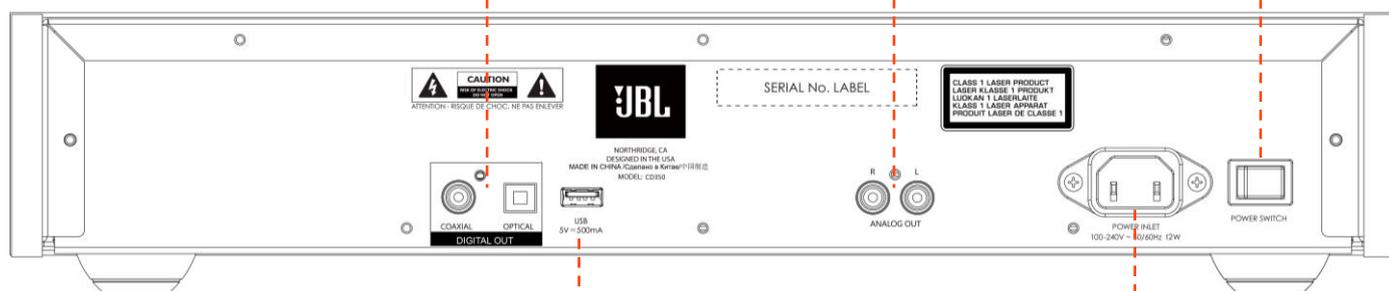
いずれかの出力を、DAC
またはアンプのデジタル入
力に接続します

アナログ出力

この出力をアンプの
CD入力に接続します

電源スイッチ

アンプのオンとオフを
切り替えます



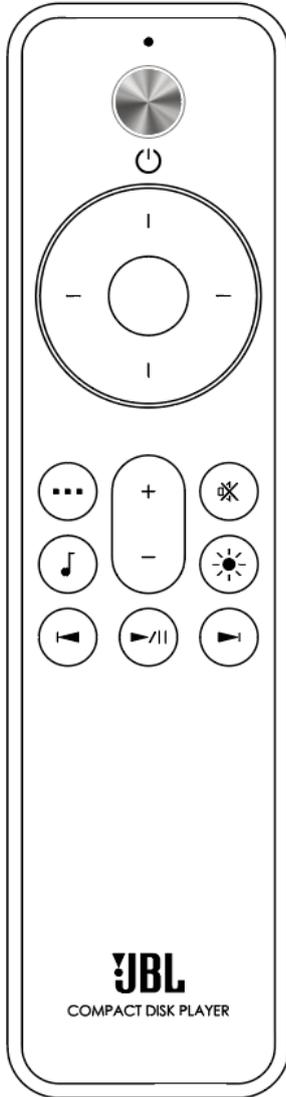
USB ソケット

音楽ファイルを再生した
い USB スティックを接
続します

電源入力

ここに付属の電源ケ
ーブルを接続します

リモコン



	スタンバイ動作の切り替え
	メニューナビゲーション 再生中にモード (ランダム/リピート) を選択して再生する中央ボタン 左 = USB ストレージから再生 右 = CD トレイから再生
	アンプの音量調節 (JBL SA750 または SA550)
	アンプのミュートのオンまたはオフ (JBL SA750 または SA550)
	ディスプレイの明るさ
	トランスポートキー – 再生/一時停止 (長押しすると停止)、前のトラック/次のトラックにスキップ
	メニューボタン
	音楽情報ボタン

注意：誤った電池を使用すると、危険な結果が生じる恐れがあります。使い古した電池と新品の電池を混ぜて使用しないでください。異なる電池を混ぜて使用しないでください。見た目は似ていても、電池が異なると電圧が異なることがあります。正しい方向に電池が挿入されていることを確認してください。

1 か月以上使用しない場合、機器から電池を外しておいてください。使用済みの電池は、お住まいの国や地方自治体の定めた規則に従って廃棄してください。

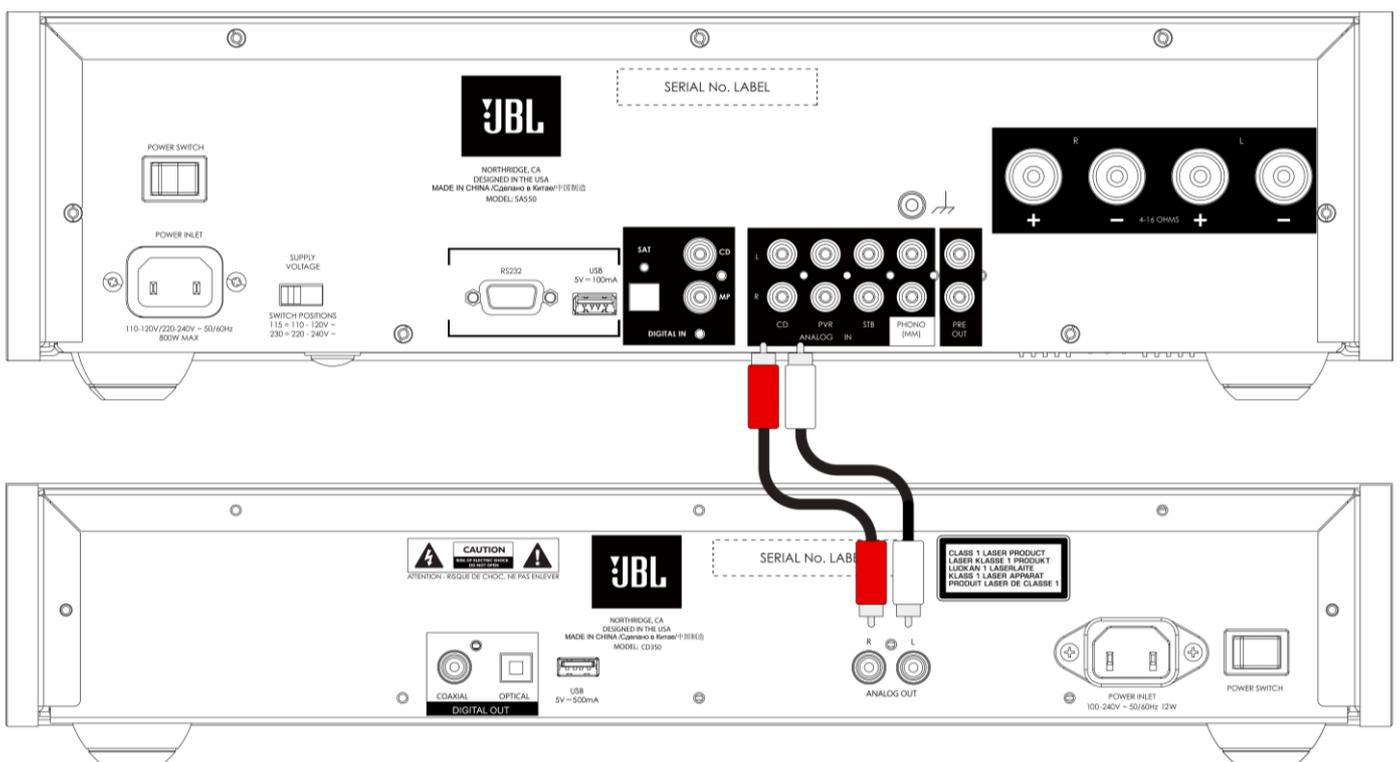
CD プレーヤーの接続

アナログ接続

ステップ 1. CD プレーヤーとアンプに電源が接続されていないことを確認します。

ステップ 2. アナログインターコネクトケーブルを使用して、CD プレーヤーのアナログ出力の赤い右 (R) 端子を、アンプの CD 入力の右 (R) (通常は赤い端子) に接続します。

ステップ 3. CD プレーヤーのアナログ出力の白い左 (L) 端子を、アンプの CD 入力の左 (L) (通常は白い端子) に接続します。



重要なヒント

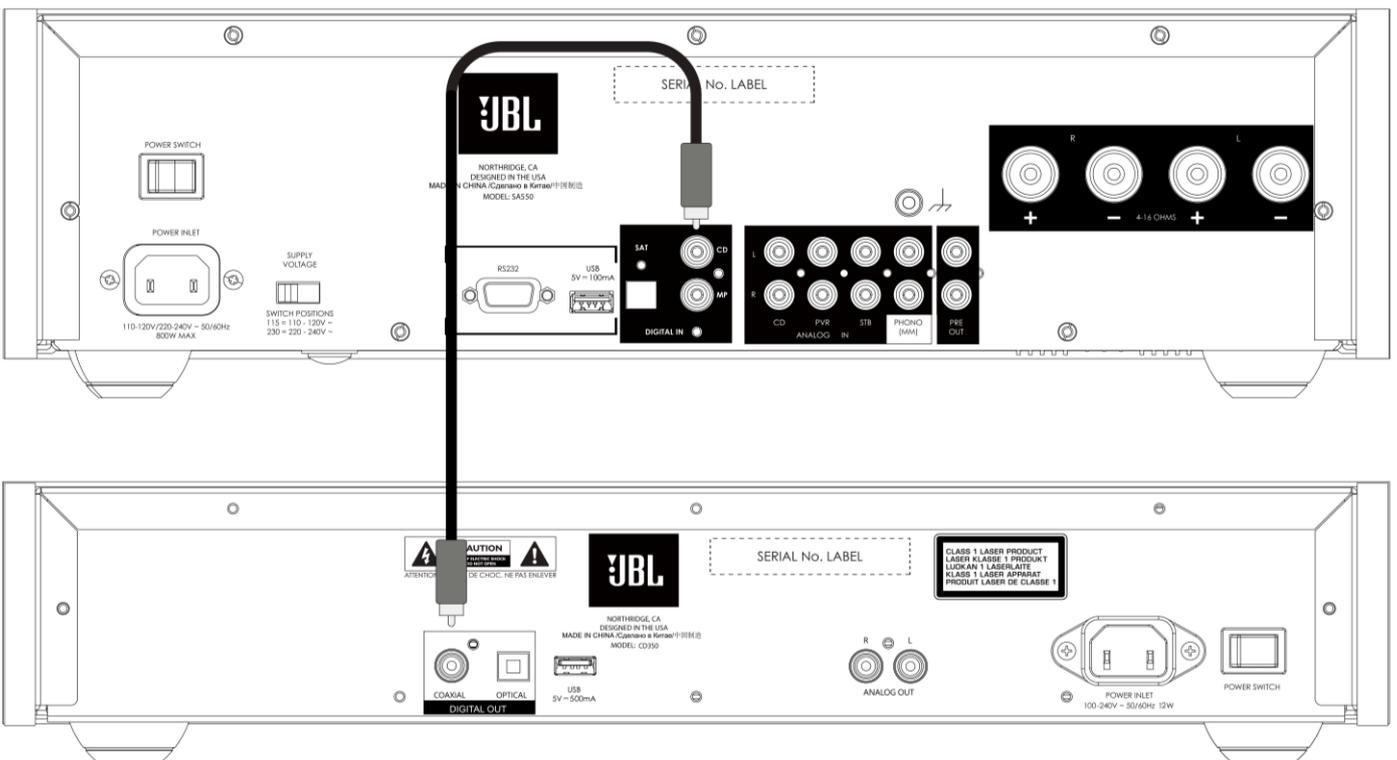
- 接続後：入力信号がない状態でアンプのスイッチを入れ、音量を最小まで下げます。CD 入力を選択し、CD を再生しながら、適当なリスニングレベルまでゆっくりと音量を上げます。この手順により、接続を誤った場合に、大きな音が出たり製品の損傷を防ぐことができます。
- システムの接続方法についてご不明な点がございましたら、JBL 販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

デジタル接続

ステップ 1. CD プレーヤーとアンプに電源が接続されていないことを確認します。

ステップ 2. デジタル同軸インターコネクトケーブルを使用して、CD プレーヤーのデジタル同軸出力を、アンプのデジタル同軸入力に接続します。

あるいは、Toslink 光学インターコネクトケーブルを使用して、CD プレーヤーのデジタル光出力を、アンプのデジタル光入力に接続します。



重要なヒント

- CD350 を、JBL SA550 または SA750 アンプと併用する場合は、デジタル接続をお勧めします。
- 接続後：入力信号がない状態でアンプのスイッチを入れ、音量を最小まで下げます。接続方法に対応する入力ソースを選択し、CD を再生しながら、適当なリスニングレベルまでゆっくりと音量を上げます。この手順により、接続を誤った場合に、大きな音が出たり製品の損傷を防ぐことができます。
- システムの接続方法についてご不明な点がありましたら、JBL 販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

操作

電源

リアパネルの電源スイッチで、CD プレーヤーの電源のオンオフを切り替えます。接続が完了したら、プレーヤーの電源を入れます。

スタンバイ

フロントパネルの Standby ボタンを押すと、CD プレーヤーの**スタンバイ**と**オン** (動作) が切り替わります。

オートスタンバイ

本 CD プレーヤーは、20 分間オーディオを再生しなかったり操作が行われなかった場合に、自動的にスタンバイに切り替わるよう設計されています。これは国際的な電力消費規制を満たすためです。これはメニューでオフにすることができます。メニューの使い方については 11 ページをご覧ください。

CD の再生

JBL CD350 はオーディオ CD とデータ CD を再生できます。11 ページのサポート対象メディアを参照してください。

まだ選択していない場合は、リモコンの**右ナビゲーションキー**を使用して、CD トレイからの再生を選択することができます。

CD トレイを開くには、CD プレーヤーの前面にある **▲** (取り出し) ボタンを押してドロワーを開きます。ラベルを上にして (光沢のある面を下にして)、トレイに CD を置きます。

次に、CD プレーヤーのフロントパネルにある **▲** (取り出し) ボタンを押してドロワーを閉じるか、**▶/||** (再生) を押し、ドロワーを閉じて再生を開始します。

注意：この CD プレーヤーはコンパクトディスクのみを再生するように設計されています。本機の中に、異物 (食品、飲料、付属物を含むがこれらに限定されない) が入ると、損傷や傷害が発生する可能性があります。この場合、保証の対象外となります。

USB ストレージデバイスからの再生

JBL CD350 は、USB フラッシュドライブに保存された音楽ファイルを再生できます。12 ページのサポート対象メディアを参照してください。

まだ選択していない場合は、リモコンの**左ナビゲーションキー**を使用して、USB 入力からの再生を選択することができます。

リアパネルの USB ソケットに USB ストレージデバイスを挿入します。USB 延長ケーブルは使用しないでください。

▶/|| (再生) を押すと再生が開始します。

フォルダーを変更するには、リモコンの上下のナビゲーションキーを使用します。

注意：プレーヤーは、作成日順に、フォルダー内のファイルを再生します。

メニュー

メニューにアクセスするには、リモコンの  (MENU) ボタンを押します。

メニューを移動するには、リモコンのナビゲーションボタンを使用します。

メニューツリー

Display	ディスプレイの明るさを選択します。初期設定は Full です。
DAC Filter	アナログ出力のデジタルフィルターを選択します。初期設定は Slow です。
Eco Standby	有効にすると、20 分間オーディオを再生しなかったり、ユーザーが操作を行わなかった場合に、スタンバイ状態になります。初期設定は On です。
Disc Auto	CD 挿入時の自動再生開始を無効にします。初期設定は On です。
Reset to Defaults	工場出荷時のデフォルト設定を復元します。

サポート対象のフォーマット

ディスクフォーマット

	コンパクトディスク (オーディオ CD)
	一度だけ書き込み可能なコンパクトディスク (CD-R)。 注意：プレーヤーが読み取ることができるように、書き込み可能なディスクをファイナライズする必要があります。
	再書き込み可能なコンパクトディスク (CD-RW)。 注意：プレーヤーが読み取ることができるように、書き込み可能なディスクをファイナライズする必要があります。
	CD-TEXT ディスク。こうしたディスクには、トラック名、アルバム名、アーティスト名などのテキスト情報が含まれています。

ファイルフォーマット

ファイルのタイプ	ビットレート	ビット深度	サンプルレート
AAC	8~320 kbps		32、44.1 または 48 kHz
FLAC		16 または 24 ビット	32、44.1、48、88.2 または 96 kHz
MP3	32~320 kbps		32、44.1 または 48 kHz
WAV		16 または 24 ビット	32、44.1、48、88.2 または 96 kHz
WMA	48~192 kbps		32、44.1 または 48 kHz

注意：

- ファイルは、作成日順に、ディスクまたは USB から再生されます。最初に記録されたファイルから再生されます。
- 可変ビットレートのファイルを再生すると、表示されるトラック時間が不正確になることがあります。
- DRM コンテンツ (デジタル著作権管理が適用されたファイル) は再生できません。
- フォルダの最大深度は 9 フォルダです。
- フォルダの最大数は 512 です。
- ファイルの最大数は 65535 です。
- USB フラッシュドライブは、FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットする必要があります。

トラブルシューティング

問題	以下を確認
音が出ない	CDプレーヤーが電源に正しく接続され、電源スイッチが入っていますか？ CDプレーヤーがアンプに正しく接続されていますか？ アンプの電源が入り、正しい入力を選択され、ミュートされていませんか？
挿入したディスクが再生されません	ディスクに傷や汚れはありませんか？ ディスクが裏返しではありませんか？ディスクは光沢面を下にして挿入してください。 サポート対象ディスクですか？ CDプレーヤーがUSBモードになっていますか？
音楽ファイルが再生できません	USBフラッシュドライブは正しく接続されていますか？ 再生しようとしているファイルは本CDプレーヤーでサポートされていますか？ ディスクからファイルを再生しようとしている場合、ディスクは書き込み後にファイナライズされていますか？
不意に音が出なくなった	ディスクに傷や汚れはありませんか？ CDプレーヤーの振動や衝撃によって、再生が中断されることがあります。再生中にCDプレーヤーを動かしたり振動させないようにしてください。
CDプレーヤーがリモコンに反応しません	リモコンに新品の電池が入っていますか？ リモコンとCDプレーヤーの間に障害物がなく、リモコンがCDプレーヤーのディスプレイを向いていますか？
フロントパネルディスプレイに何も表示されない	CDプレーヤーが電源に正しく接続され、電源スイッチが入っていますか？ CDプレーヤーがスタンバイ状態になっていませんか？ ディスプレイが「Off」で暗くなっていませんか？ リモコンの  ボタンを押します。

仕様

出力	
DAC	PCM1796
周波数応答	20Hz～20kHz ± 0.05dB
公称出力レベル	2.0 ± 0.3V
全高調波歪み + ノイズ	0.007%
SN比 (A重み付け)	105dB
全般	
主電圧	100～240V、50～60Hz
最大消費電力	12W
寸法 (mm) (脚、コントロールノブ、コネクタを含む)	幅448 x 高さ89 x 奥行290
本体重量	5.8 kg
梱包重量	7.5 kg